



米粉協議会通信

発行
平成27年 8月21日

北海道米粉食品普及推進協議会
事務局 日糧製パン株式会社
電話 011-851-8139

27年度協議会総会を開催

平成27年7月3日、北海道米粉食品普及推進協議会は、札幌グランドホテルにおいて総会を開催し27年度事業計画を決定しました。



【総会の様子】

総会では26年度の実施事業として、米穀安定供給確保支援機構、北海道農政事務所との共催により開催した「米粉食品製造技術講習会」（講師：貫田桂一氏、札幌市・7月）、「米粉料理講習会」（講師：坂下美樹氏、釧路市・札幌市・11月）、「米粉活用セミナー」（講師：サカイ優佳子氏・田平恵美氏、札幌市・2月）について、概要の報告がありました。

次に27年度の事業計画では、引き続き消費者や各業界団体等を対象とした講演会等のイベントを開催すること、米粉食品の普及推進に向け積極的に取組むことが提案され、出席会員の承認を受けることが出来ました。

平成27年度北海道米粉食品普及推進協議会事業計画(抜粋)

1. 米粉の普及・啓発

一般消費者や各業界団体・会社等を対象として、米粉に関する講演会や製造技術講習会等のイベントを開催します。

2. 米粉食品に関する取組事例の情報発信

米粉食品の認知度を向上させるため販売店及び地域の取組の情報として発信します。



【黒柳会長挨拶】



【来賓挨拶：北海道農政事務所 鶴見所長】

レシピ募集中！ WEB応募もできます

第3回 全国米粉料理コンテスト

● 米粉の名人 料理グランプリ2015 ●

米粉の特長を生かした、オリジナリティあふれる米粉料理を募集します。

募集期間：2015年 7月6日(月)～10月5日(月) ※当日消印有効

グランプリ賞品：全国「米粉の名人」料理グランプリ賞と副賞 そのほか各賞と賞品多数

主催：NPO法人 国内産米粉促進ネットワーク

後援：全国農業協同組合中央会 一般社団法人 日本フードサービス協会 公益財団法人 産業教育振興中央会

米穀の利用促進に関する基本方針説明

総会終了後、米穀機構主催により「米穀の新用途への利用推進に関する基本方針説明会」が開催されました。

開催にあたり米穀機構・河崎常務理事から挨拶を受け、その後、農林水産省生産局穀物課米田係長から今年4月、国が改めて定めた基本方針について、「利用の促進に向けた新たな技術等の明確化、流通・加工コストの低減、実需者とのマッチングや消費者へのアピール推進」等主な内容について簡潔な説明がありました。



【挨拶：河崎常務理事】



【説明：米田係長】

米ゲルについての説明・製造実演



【講演の様子】

説明と併せ、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所・杉山純一氏から新用途向け新たな米穀加工技術、米ゲルについての講演と製造実演が行われました。

製造実演では、炊飯した米（高アミロース米）をダイレクトGEL転換技術（加水・温度制御により糊化後、高速機械攪拌）により米ゲルとし、更にクリーム状に2次加工、出来上がった米ゲル加工品の試食と質疑応答を行いました。



【フードプロセッサーに炊飯した米を入れる】



【コーヒークリームを入れる】



【クラッカーに米ゲル加工品をのせる】

第12回全国米粉食品普及推進会議開催

平成27年4月23日、東京都中央区日本橋（食糧会館会議室）において、第12回全国米粉食品普及推進会議が開催され、北海道からは相良事務局（日糧製パン（株））が出席しました。



【全国米粉食品普及推進会議】

会議冒頭、高木会長は「本年4月の新たな食料・農業・農村基本計画に連動し、新たな「米穀の新用途への利用の促進に関する基本方針」が定められたので、説明のため急遽この会議の開催となり、地方ブロック説明会の開催も予定している。」と挨拶、次に農林水産省穀物課那須課長補佐から新たな「基本方針」について説明がありました。

続いて事務局から地方説明会の実施時期と開催方法に関する提案、出席した各地の協議会代表者からの質疑を行い、その後全員で東京ビックサイトで開催中のホビークッキングフェア2015の米穀機構出展ブースを見学しました。



【ホビークッキングフェア2015】